

7月26日開催 保存・活用合同部会で出された意見等の一覧

歴史文化の特徴	関連文化財群	委員からの意見等		
視点やテーマの追加・整理について				
全体		周辺地域を含めた広い視点	全体のなかの長野の位置づけの枠が一つほしいところである。市外も含めた大きな俯瞰的な話はとても大事だと思う。 善光寺平を支えた、周辺域の恵みというのを視点として入れられると思う。 山で繋がっているから文化が入ってくるという事もある。周辺地域まで含めた広い視点がほしい。	
		マイノリティの視点	為政者だけではなくマイノリティに関するエピソードがあれば拾ってほしい。女人信仰や子供の話など善光寺門前を描いたものなど色々あると思う。	
		時代を貫通したテーマ設定	道や鉄道、山や農産物、水などは基本的な要素なので、そこを軸として時代を貫通しているという視点があるとよい。 森林絡みのことがない。山と街並みの繋がりになど、植物ではなく生活という側面から取り上げてほしい。	
			ながの百景も関連付けた方が絶対により。棚田などのピックアップが全然ない。風景とか眺望の100選などもここに組み込んでいった方がよいのではと思う。	
		保存団体	人の動きが大事。活動団体を取り上げるべき。その人達のやる気を出したり、興味のある人への架け橋となる役割が必要だと考える。	
		若穂地区	若穂は松代ともつながり、古い寺院も多く残っているためもう少し取り上げてよいと思う。 若穂（の綿内）は須坂藩領で長野市（中心部）とあまり付き合いがないが、寺院も多くあり、特徴的なところだと思う。	
6	⑥-1	市町村合併	県都の誕生の所で、昭和の合併と平成の合併はどう捉えたのかというところが抜けている。	
6	⑥-3	オリンピック	オリンピック施設は文化財としてどうやって捉えるか難しい。	
7	⑦-2	食文化	食文化は面白いと思う。	
7	⑦-2	特徴的な農家・農業小屋	衣食住に絡むキーワード（衣：麻 食：それぞれ 住：建築素材と様式 等）で分けるとよいのではないか。例えば特徴的な農家・農業小屋に光をあててもよいのでは。	
8	⑧-2		森林と生活、炭や燃料、エネルギーについて取り上げ、1965前後の（日本近代の）エネルギー革命（的な状況）の前後について触れるべき。	
その他		善光寺門前のリノベーション	リノベーションは全国で行われているが、長野の特色としてだしていくことが大事な訳ですよね？ →長野は先進的だったのでリノベーションの数は多いが、個性が弱いと言われていて、オリジナリティをどう出すかが課題かもしれない（宿野）	
その他		大本営	大本営（松代・安茂里）はどうとらえるのか？ →戦争というのは長野市の歴史の中で語られるものではないというのがあり、どういう紹介の仕方をすればいいのかわからない。（塚原）	
その他			インバウンドで来た場合、負の遺産に対してどう対応していくか。目をつぶっておきましょうというわけにはいかない。	
分かりやすく、興味関心を引く記述・表現について				
全体		全体像の提示	まず最初に歴史の全体像がほしい。 このような地勢だったからこのようなことが起こったという、わかりやすく、ざっくりまとめてもらえると一般の人にも読みやすいと思う。	
		視覚的な表現	文字だけでなくビジュアル的なまとめ方をしてほしい。 文化圏も善光寺平を通らずに信州新町に行けたというような尾根伝いの動き方などを視覚的に地図へ落としもらおうとイメージしやすいと思う。 スケールバーのような年代がわかるものをページの上に乗せる、テーマに対応する時代を色を濃くして明記する、文化財の一覧に時代区分を載せるなどするとわかりやすい	
			関心を引く記述	読む対象は市民の人が対象で、まず地域の魅力を知ってもらうこと、その続きで観光がある。市民がワクワクしなければ観光には結びつかない。 そもそも誰に向けて書いているのかわからない。歴史的な掘り起こしはわかるが、それでは何も伝わらない。一般の市民が楽しく感じて文化財を掘り起こしていく起爆剤にしたい。 ただ載せるのではなくおもしろい点を学芸員の主観で書くのが大切だと思う。 学芸員のおすすめのもの、コアなところをついていくのもよいのでは。学芸員の好きなスポットなどを集めたものを作るなどして惹きつけた方がよい。
				知ると「へえ」となるこぼれ話のようなものがあるとよい。
		構成文化財リストの項目見直し	文化財をずらっと並べてあるが、いつ時代のものであるかという欄がほしいのと、関連性のある文化財から逆索引できるような仕組みがあるとよい。せつかくつくるので、興味のある人がもう少し深掘りできるようなシステムをつくっていただきたい。	
		8	⑧-1	
8	⑧-1		災害については後世に伝えたいという人の思いが伝わるような書き方をしてほしい。	

7月26日開催 保存・活用合同部会で出された意見等の一覧

歴史文化の特徴	関連文化財群	委員からの意見等
歴史文化の特徴の追加・修正について		
2	②	<p>級坂、河岸段丘、扇状地 扇状地や級坂は一つのキーワード。生活のしやすい坂を級坂と言った。科の木説ももちろんあるが、河岸段丘扇状地という性質もあるし、地形を考えると結構おもしろいと思う。</p> <p>シナノ シナノの始まりとは北信の長野市の千曲川水系で南信は関係ないのか。北信に限定してシナノの始まりにしているのか。長野県全体のシナノの始まりなのかわかりにくい。</p>
3	③	<p>飯綱の石仏群 飯綱の石仏群なども貴重ではないか。</p> <p>戸隠の天岩戸信仰 戸隠の天の岩戸信仰についても触れてほしい</p> <p>戸隠講 信仰の広がりを見るうえで、戸隠講などの成立がどれくらいまで遡れるのか調べる必要があるのではないか。</p> <p>本地垂迹説 戸隠神社を含め、信仰史をとりあげるのであれば、本地垂迹説についても説明する必要があるのではないか。</p> <p>虫倉山信仰、作仏聖 虫倉山の信仰というのも、作仏聖など山岳信仰ではとても大事な位置を占めると思う。それは記録に残すべきである。</p> <p>廃仏毀釈 廃仏毀釈を取り上げるのであれば、今年の御開帳期間中に宿坊の蓮華院において戸隠からきたという仏像が展示されていたので、触れてもよいのでは。</p> <p>神仏分離 神仏分離の推移などは詳細な説明がほしい。</p> <p>古道 よく古道を歩きたいという観光客がいて、特に外国人などに多い。歴史的なところなどを取り上げられるといいのでは。</p>
4	④-1	<p>善光寺講、善光寺宿坊群 善光寺講についても取り上げてほしい。信仰の広がりを考える上では重要なので、宿坊群と関連して触れられるといい。</p> <p>善光寺境内の常夜燈 境内の中にあの数の常夜燈があるのは全国的に見てもかなり特徴的な風景。善光寺信仰を反映しているのでは。</p> <p>善光寺周辺の社寺 善光寺だけでなく、周辺の神社仏閣も取り上げていく必要があるのではないか。</p> <p>善光寺出開帳 出開帳の歴史をしっかりと知っていただきたい。どの建物も出開帳によって建てられた。まず本堂が始まり、次の出開帳で経蔵。そのようなことをしっかりと書き入れた方がよい。</p> <p>善光寺境内の建造物 仁王門なども含め、善光寺関連の各建物の推移についても詳しく知りたい。</p> <p>絵解き 善光寺信仰の広がりという大きなタイトルを掲げているのであれば、「絵解き」はかかせないものだと思う。</p>
4	④-2	<p>善光寺門前の町屋群 門前の町屋群これまで全然評価していないが、近世のものも残っていて、近代の道を直した後の和風、洋風のものそれぞれ残っている。全国的に見てもかなり特徴的なおもしろい風景である。それは評価してあげるべき。</p> <p>善光寺仲見世 仲見世も伝統的なものが残っているので評価すべき。</p> <p>善光寺仲見世 仲見世の文化をもう少し取り上げてほしい。</p> <p>善光寺宿坊群、門前町の屋台、周辺の神社 宿坊群や門前の屋台、門前周辺の集落の神社についても記載がほしい。</p> <p>駒形駒弓神社 駒形嶽駒弓神社の社殿と行事。黒駒の神事を知っている人が少なくなっている。</p> <p>善光寺周辺の町衆文化、弥栄神社の御祭礼 中世から近世において町が形成されてきたからの町衆の力のもち方は城下町とは違う発展の仕方があるから非常に興味深いものと思う。町衆文化の中心的なものとして弥栄神社の御祭礼があるが、観光財産として掘り起こせるのではないか。</p> <p>善光寺門前の防火用水（畳刺し） 門前だと防火用水や畳差し。火事に関連して町屋の塗屋造もある。</p> <p>善光寺用水（裾花川旧流路） 町の中にこんな三角形の敷地がある場所があるなんておもしろい。用水が斜めに通っているから。</p> <p>善光寺門前の丁石 門前の活用としては“丁石”を取り上げたい。善光寺まで上がっていくまちなみも美しいので、それとあわせてPRできれば。</p> <p>丹波島宿の町屋群 川中島あたりの町屋群はかなりおもしろいのが残っている。</p>
5	⑤-1	<p>為政者以外のエピソード 確証のとれないものかもしれないが、戦記などから為政者以外のエピソードをもってこられればよい。正史や勝った側の記録だけではなく、民衆や女性などをプラスしてほしい。</p> <p>滋野氏 横田河原の合戦の後、小田切から七二会、中条、信更、信州新町にかけては滋野氏である。滋野氏の扱いがどこにも出てこない。西山全体を支えている中世では大事な一族である。よくわからないことも事実だが、ちょっと触れてもらいたい。</p>
5	⑤-2	<p>大名道具、姫、恩田緑陰など 松代藩の話では、大名道具のお姫様とか、恩田緑蔭さん、女性の活躍などいまの正史の裏にいた人や庶民のものがあればよい。</p> <p>松代城総構え 松代の町のなかで総構えの中と外は若干感じが違うという点を触れていただきたい。</p> <p>鉾山開発 佐久間象山が藩内の鉾山を開発したという足跡というのをきちんとしてほしい。</p> <p>真田信之 真田信之が今年入部400年ということで、信之は弟に比べて目立たないが、93歳まで生き真田家を残すために色々動かれた方なのでもう少し顕彰していきたい。</p> <p>忍術、剣道 武道ツーリズム。剣道や忍術をPRしていくことで誘客ができると思う。ソフトな部分から手裏剣などインバウンドの関心があるのでこうしたものを観光面でPRできたらと思う</p> <p>松代城下町 泉水路、松代の武家住宅群、松代城下の町屋群、松代城下の社寺</p> <p>松代城下町の祇園祭 松代城下の祇園祭</p> <p>佐久間象山 佐久間象山は大事だと思う。西洋文化。</p>

7月26日開催 保存・活用合同部会で出された意見等の一覧

歴史文化の特徴	関連文化財群	委員からの意見等	
5	⑤-3	花井吉成、脇街道、谷街道	北国街道が整備されたのは花井吉成の頃だと思う。それはやはり特出するものだと思う。松本と長野を結ぶ脇街道さらにや、飯山への谷道筋のこともきちんと書いてもらわなければならないと思う。
		佐渡金、西山の作物	街道について、全国的な視野で長野はこんな特徴があったということを述べてほしい。例えば佐渡の金のことであったり、西山の作物のことなど。もう少し俯瞰的に見てほしい。
		建築的な特徴	宿場町の建築的な特徴について、なぜその形になったのかという背景も含めて視覚的に楽しめるポイントも整理してもらいたい。
6	⑥-1	鉄道	鉄道に触れていない。鉄道がきたことにより町の中心地が動いていったと思う。元々は善光寺界隈に人口の中心があったところが、長野駅周辺に移っていったという図が欲しい。
		鉄道、国道	国道や鉄道をどこに引くのかというところに大きな意味があった。
		土木遺産	土木遺産が抜けていると思う。書物や建築はあるが橋や土木工事がどこまで文化財になっているかわからないが、急峻な土地なのでその視点が一つほしい。
		地名	長野という名前について。長野村から市名になって県名になったところを踏み込むとおもしろいのでは。
		製糸業関連遺構	松代の製糸業関係遺構
		近現代建造物群	城山の近現代建造物群、県庁付近の洋風官舎。中央通りの拡幅と都市改造で近代の町屋群ができています。
		佐久間象山	佐久間象山については近代化いたる思想史のほうで取り上げても良いかもしれない。
		佐久間象山	佐久間象山については武家文化と近代化の両方で取り入れるべきだと思う。大砲の運用を積極的に取り入れていたということも近代化が進んでいたということの証左になる。
6	⑥-2	保科五無斎の石碑	保科五無斎のことが出ているが、五無斎の碑が加茂神社にあるので構成文化財に載せてほしい
		女子教育	長野西高校はかなり古い女子教育をしている。日本でもかなり古い。
		町学者	寺子屋に関して、長野市からは色々な町学者が出ている。それを掘り起こす。マミヤゼンチョウ、冢田大峯など。
		和算、算額	和算の話とかも落とし込んでみては。算額もたくさんある。早くしないと色が消えていってしまう。
6	⑥-3	往生寺・西光寺の絵解き	かつては往生寺も善光寺と同じくらい賑わっていて、絵解きが行われていた。それがいまだに引き継がれている。かるかや山と往生寺の絵解きはとり上げていただきたい。
		善光寺周辺の絵伝	県宝の淵之坊の絵伝以外にも善光寺境内にはたくさんあるはずで、大本願にもあるはず。その全容が解明されていない。宿坊にもたくさんあるはずなのでどこかで出してもらえないかと思う。
		旅籠	善光寺の宿坊以外にも大門町などに宿に関わる歴史的な建造物（藤屋旅館など）がある。
		善光寺門前の望楼建築、えびす講の打ち上げ花火	善光寺の周辺に望楼が上がっている家が結構あるのは花火を見るためだとよく聞く。
		善光寺門前の望楼建築、えびす講の打ち上げ花火	有名な人たちが大門の望楼からえびす講の打ち上げ花火を見ている。
		権堂、鶴賀新地	同じ花街ではあるが権堂村と鶴賀村は本来別のもの。鶴賀は明治以降に区画された鶴賀新地。
		権堂、鶴賀新地	権堂や鶴賀新地は拾っていくべきだとは思う
7	⑦-1	つけば	ツケバ小屋の食、メニューが特徴的だと思う。
		犀川での漁撈	信州新町でも犀川での漁撈が行われていた。
		川田宿、丹波島宿、千曲川通船	川田宿、丹波島宿は千曲川通船の荷上場でもあった。
		川田宿、新町、犀川通船、若穂	川田宿や信州新町など、川の文化として街並みが残っているところは評価すべき
		渡し場	渡し場の関係で若穂のあたりは物流の中心地だったとも聞いたことがある。
7	⑦-2	麻、西山地域	西山周辺には麻の生産に関わる遺構が多々ある。
		西山地域	西山地域と善光寺門前をつなぐ道と西山地域の食について取り上げてほしい。
		西山地域、桜枝町	西山地区と関係の深い町は桜枝町などである。
		西山地域	現金収入が豊かな場所だったこと、西山地域には特産品があり、資源があった。
		西山地域、飢饉、騒動	松代藩の大きな騒動は中条や西山地域から始まっている。飢饉と騒動も大切だと思う。
		換金作物	換金作物と松代藩の財政面の関係について調べられたら面白いと思う。
		粉食文化、おやき	粉食文化としてのおやきを取り上げてほしい。

7月26日開催 保存・活用合同部会で出された意見等の一覧

歴史文化の特徴	関連文化財群	委員からの意見等	
7	⑦-3	講	講は村に残っている。山岳信仰ではなくて、庶民の文化として村の講や信仰を入れた方がおもしろいのではない。筆塚のようなものも、若い人は知らないし、書いていかないといけないと思う。名もなき文化を拾っていくことが必要。
		屋台（山車）	山車（屋台）をなぜ各地域の人が競って出したかを明記するとよい。長野の山々で行われていたことがすごいと言ってほしい。
		地藏盆	地藏盆について取り上げてほしい。
		えびす講	えびす講に代表されるようなえびす信仰について取り上げてほしい。
		芦ノ尻の道祖神、桐原神社の藁馬	大岡の道祖神や桐原神社の藁馬を取り上げ、展示などで盛り上げられればよいのではないか。
		音楽、踊り、芸事	音楽や踊り、芸事（権堂の三味線や芸妓ではないが、そういった類のもの）を取り上げてほしい。
		北信流、謡、生け花	北信流をやるために謡を習い、農家の長男は謡や花ができなければいけなかった。そういう背景や男女の話を書いてほしい。
		花火	花火を取り上げてほしい。
7	⑦-4	御柱	御柱は資料で紹介されたもの以外に非常に多くあるので、御柱についてはもっと大きく取り上げてほしい。
8	⑧-1	火災、善光寺門前の防火用水	火災についても、門前の防火用水のことなどかかわって取り上げられるのではないか。
		火災、川田宿	川田宿は入り口にいきなり秋葉社があり、おもしろい。川田の火災は有名である。
		善光寺地震、犀川堰止湖	善光寺地震は長野市（の現在の中心市街地・善光寺門前）のことになるが、新町で浸水して水が溜まり、決壊して流れ出して被害を生んだので、その点も書いてほしい。
		土砂災害	土砂災害のことは大切だと思う。
		松代群発地震、神城断層地震	松代群発地震と2014年の神城断層地震を取り上げてほしいのではないか。
8	⑧-2	棚田	棚田のことを景観として取り上げてほしい。大岡などにある。
		亜炭、鉱山	亜炭は茶臼山だけでなく西山地域などどこでも産出されていて、江戸時代に佐久間象山が調査し、戦時中は鉱山があり鉱山技師がいたことを取り上げてほしい。
7 8	⑦-2 ⑧-2	果樹栽培	豊野や長沼で盛んなりんご栽培、アップルライン沿いの果樹栽培、川中島などの川沿いであることを活かした作物の話を取り上げるとよいと思う。
文化財の活用について			
2	②		大室古墳がもっと活用できないのかと思う。観光に活かせるものがある。
5	⑤-1		山城歩きはトレッキングコースとして発信すでに6コースくらい動画で発信しているが、関心が高く引き続き色々なコースを発信するといいい。
5	⑤-2		御霊屋の公開、今まで公開しなかったが、GWとこの秋も公開する。普段見えないものが見られることはよいこと。
7	⑦-2		麻の生産に関する遺構、麻煮小屋などは、どのように活用するか。
7	⑦-3		獅子舞図鑑のようなものを作り、全部の地区を並べられると興味がわいてよいのではないか。
7	⑦-3		祭り、獅子舞、道祖神の一覧を作るとよいと思う。
7	⑦-3		杜煙火、打上花火等それぞれ特色性があり、楽しみ方も様々なので、奉納花火の一覧をまとめれば広報になるのではないか。
8	⑧-1		災害の復興につなげられるとよいと思う。
8	⑧-1 ⑧-2		山の神・水の神は恵みに感謝しながら治水・治山、自然災害との関係性があるので面白い。今に活用されるとよい。
その他			
1	①		クニになる前については、鬼無里地区や信州新町にかなり集約されているのではないかと感じた。
2	②		古墳時代に関しては、いわゆる古墳遺跡群をどうやって文化財として活用していくかが難しい。
2	②		古墳群と松代・若穂地区などとの関連はどうなっているのか調べていくとおもしろいのではないか。
その他			松代と大本営をどのように捉えるか。
その他			昭和53年の長野国体の際、昭和天皇が松代の方を見て、「無駄な穴を掘った場所か」とおっしゃったというのは有名な話であるのでその辺をどうやって近世史にリンクさせて行くのか。
その他		大本営	安茂里にもある。
全体		対象者を考慮した記載・表現の見直し	誰に向けた計画なのかという話があったが、最終的には観光に活かしたいということなのかもしれないが、まずは市民に向けてということを考えてもらいたい。
4	④-2		善光寺領をどうやって捉えるのか非常におもしろいと思う。
5	⑤-2		信之の顕彰をしようと思っていて、東京駅でサインージもやる予定だが、弟より目立たない。 ➡資料としてはたくさん残っているが、地味（宿野） ➡家光の時代まで重鎮とし重用された。実際、家康の娘婿で外様だが、譜代扱いされた（塚原）
5	⑤-2		真田氏はなぜ転封されなかったのか。非常に珍しいと思う。
5	⑤-2		松代藩で佐久間象山というのは、内務省の役人が象山神社をつくるという理由で来ていた際に佐久間修理と呼んでいた。

7月26日開催 保存・活用合同部会が出された意見等の一覧

歴史文化の特徴	関連文化財群	委員からの意見等
6	⑥-1	城山の建築はもうじき壊すんですよね。長野市を代表する近代建築物。できれば壊す前に調査をしておきたい。文化庁では近現代建築を積極的に保護しようというかたちになってきている。
6	⑥-1	長野市で一番最初の鉄筋コンクリート建物。昭和33年の建築。
6	⑥-1	長野市の町を見ると門前が西洋化している。蔵の前にハリボテをつくり西洋建築のようにするのはそのようなところからきている気もする
6	⑥-1	先進性を育んだ武家文化という側面もある
6	⑥-3	オリンピックまでもってきたというのはすごい →近代以降の観光文化ということでは、えびす講の花火などが入れられたかなと思う。いわゆる杜煙火の話に出てくるのだが、えびす講の花火はどちらかというと完全に権堂、善光寺門前の賑やかしとして始められたと思う。
6	⑥-3	権堂の獅子はもともと御祭礼の厄払いからはじまっている。
6	⑥-3	主導したのは鷺澤平六
5	⑤-3	川中島宿の町屋
6	⑥-3	明治期になると門前の建物の高さ規制が撤廃されて、「上に上に」という意識がでてきたのだと思う。花火も要因の一つであるかもしれないが、明治期に高さ規制が撤廃されたことによる上昇気分なのではないか
7	⑦-1	漁撈がなぜ廃れたのかは興味深い。
7	⑦-1	扇状地 (湯福川扇状地等) 上に形成された場所に人が住んでいることが長野市の特徴 (の内の一つ) である。
7	⑦-1 ⑦-2	土木遺産は民俗的テーマとのつながりで取り上げてほしい。
7	⑦-2	(参考資料の学芸員があげたキーワードを表にしたものの) 稲作という単語が気になる。内容からして農耕なのではないか。
その他		近代戦争の先駆けである北越戦争の従軍記というのはほとんど残っていない。松代藩で少しつくったかというくらいで須坂藩にもない。
5	⑤-1	山城の文化遺跡をどうやって活用するかが大事ではないか。
5	⑤-1	お城と言えば栗田城の活用は駅近なのでよい。
4	④-1	宗教法人がもっている文化財に自治体はどの程度関わっていくのかが非常にアバウト。その辺の住み分けをどういうふうにしていくのかが非常にわかりづらい。どこまで踏み込むのかを明確にしておく必要があるのでは。
7・8	⑦-1 ⑧-1	地名 吹上、木留といった地名が残っているのは面白い。荒木村などは災害があり、川辺が利用されたことがわかりやすい。